



## X線TV撮影装置が新しくなりました

平成 26 年 10 月に、17 年間使用していた X 線 TV 装置を更新しました。

X 線 TV 装置とは、みなさんが健康診断などでバリウムを飲んで行う胃の検査や、肛門から造影剤を注入して行う大腸の検査、内視鏡を用いて行う検査・手術、嚥下撮影（食べ物の飲み込み検査）、腹部の血管撮影などを行う装置です。

新しい X 線 TV 装置は最新のフラットパネル（受像装置）を搭載したことにより、以前の装置に比べ被ばくを少なくすることができ、さらにデジタル画像処理技術の向上により撮影及び透視画像の画質が改善され、細かな病変の観察が容易になりました。

操作性において今までは装置の構造上、撮影から次の撮影まで待ち時間があったのですが、新しい X 線 TV 装置では次の撮影までの待ち時間がなくなったため、常に最適なタイミングで撮影ができるようになりました。また、以前の装置では腰の高さか

ら寝台が下がらなかったため足台を使って乗り降りしていましたが、新しい TV 装置では寝台が膝の高さまで下がるようになり乗り降りしやすい、患者さんにやさしい装置となりました。

安全面に関しては、患者さんの指挟み込み防止カバーや医師・看護師が装置に接触したことを感知するセンサーが装備され、さらに患者さんに付き添いながら寝台操作が出来るような機構が追加されました。

私たちスタッフ一同は、今回導入した X 線 TV 装置の特徴を生かし、より質の高い検査・治療を提供していきたいと考えています。

画像診断室スタッフ一同



### ●向こう3ヶ月間の行事予定

日時	行事名	場所
1月26日(月)	目で見て感じてわかる糖尿病教室「誰でもできる食事療法のコツ」	講義室(2階)
1月27日(火)	第4回 ナースが行ういきいき健康講座	エントランスホール
2月 5日(木)	市民献血	正面玄関
2月 9日(月)	目で見て感じてわかる糖尿病教室「あなたが変わる運動のコツ」	講義室(2階)
3月 9日(月)	目で見て感じてわかる糖尿病教室「合併症を防ぐカギ」	講義室(2階)

このほかにも、患者さんやご家族の方向けの講座やイベントなどを開催していきます。  
最新の情報はホームページ (<http://www.city.hekinan.aichi.jp/HOSPITAL/index.htm>) をご覧ください。

### 新年のご挨拶

病院長 梶田 正文



新年あけましておめでとうございます。  
昨年の12月14日に総選挙が行われたため、大変に慌ただしい年末となりました。今回の総選挙では公示から投票日までが短く準備が大変だったと思います。

昨年のノーベル物理学賞は、青色LEDの開発に成功した赤崎勇先生、天野浩先生、中村修二先生の3氏に贈られることになりました。青色LEDをめぐる赤崎・天野両氏と中村氏との激しい開発競争については新聞で紹介され多くの人の知るところとなりました。山中伸弥教授がiPS細胞の開発でノーベル医学・生理学賞を受賞されたのはまだ私たちの記憶に新しいところですが、再び日本人がノーベル賞を受賞したことを喜ぶとともに誇りに思います。

一方で、昨年は、広島土砂災害や御嶽山の噴火によって多くの方々が亡くなりました。心からご冥福をお祈りいたします。また、長野県北部で起こった地震では死者こそ出なかったものの多くの建物が崩落し、大きな被害が出ました。専門家は、今後地球温暖化の影響により、さらに局地的な豪雨や巨大台風が増えるものと予想しています。地球温暖化対策には今まで否定的であったアメリカと中国が対策の重要性を確認しており、ようやく実効性のある対策が打ち出される気運が高まってきました。私たち個人としても地球温暖化対策として何が出来るか考えていく必要があります。

さて、昨年4月に消費税は8%に引き上げられましたが、増税前の駆け込み需要の反動から4月以降の国内消費は予想よりも回復が遅れて、結局消費税10%への引き上げは延期されました。医療の分野では消費税非課税となっているため、医薬品や診療材料、医療機械などの購入についての消費税は病院が負担しています。一部は昨年4月の診療報酬（医療行為や医薬品に対する公定価格）の改訂で、消費税分の一部上乗せで対応されましたが、診療報酬は実質1.26%の引き下げとなりましたので病院の負担は増えています。今後10%増税は決まっていますので、それまでに医療における消費税について早急に議論を進めて解決されるように願ってやみません。

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて医療費が増えるのは確実ですが、日本の公的債務が一兆円にも上る状況下では、医療費の増大を最小限に抑えることが強く求められています。そこで、医療提供体制の改革により地域包括ケアシステムを確立して在宅復帰を促す方針が打ち出されました。昨年4月の診療報酬改定では在宅復帰を促すために新たに地域包括ケア病棟が新設されました。この病棟は、急性期医療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さまに対し、在宅復帰に向けて医療管理、診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病棟です。また、在宅療養中の患者さまに入院が必要となった時、在宅医から依頼を受けて支援する病棟です。碧南市民病院でも平成27年4月からこの病棟を開設できるように準備を進めています。そして地域包括ケア病棟を開設することによってこの地域の皆様が安心して在宅復帰ができるように支援してまいります。

さて、平成27年度の当院の研修医は医科3名、歯科1名がマッチングしました。残念ながら医科の研修医は定員に満たなかったのですが、今後も大学からの医師の派遣や増員が期待できない状況では、研修医が救急外来などで大きな力となって碧南市民病院を支えてくれています。皆様には研修医の教育および指導にぜひともご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

この1年が皆様にとって良い年でありますように願っております。



## 入院患者さんの患者満足度調査の結果をご報告します

平成26年9月1日から30日にかけて、入院患者さんとそのご家族の方に対して、満足度調査を実施しました。133名の方にご協力いただき、ありがとうございました。

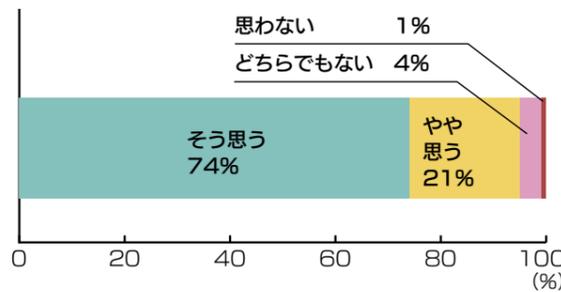
今年度は、昨年度と質問項目を変更しているため、昨年度の調査結果との比較はで

きませんが、患者さんの生の声をお聞きできたい機会となりました。

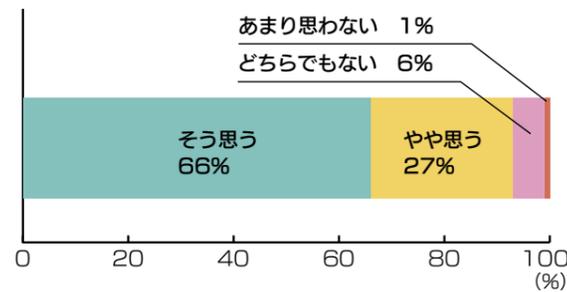
この調査結果を、励み、教訓として、今後もよりよい碧南市民病院を作っていくため、職員一同、頑張っていきます。



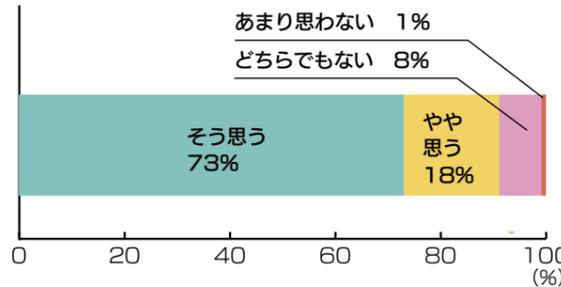
### 病院スタッフは丁寧に 対応してくれる。



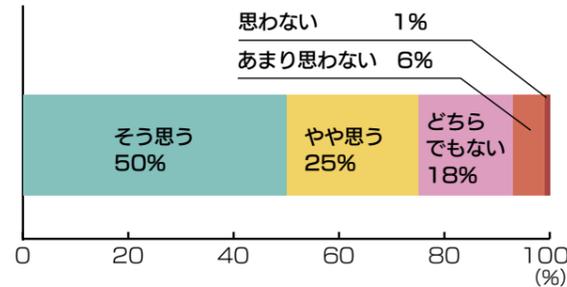
### 医師は病気や検査・治療について 分かりやすく説明してくれる。



### 看護師はナースコールを押したら すぐ対応してくれる。



### 入院環境(部屋、トイレ、ダイニング等) は快適だった。



病院スタッフの対応については、高評価をいただけた一方、設備等の面ではご満足を得られた割合がスタッフの対応に対する評価と比べると低い評価になってしまっています。施設が老朽化している部分もございますが、順次、改装を実施しております。より快適な入院生活を送っていただけるように、今後も努力してまいります。

病院内で様々なイベント等をおこないました。その一部をご紹介します。(9月から11月)

### 9/10 看護フェスティバル

がん征圧月間にちなみ、看護フェスティバルを開催しました。身体測定、骨密度測定、医師によるミニ公開講座などを開催しました。



### 9/22 オカリナコンサート

昨年に引き続き、オカリナハートさんによるコンサートを開催しました。馴染みの深い曲を披露していただきました。



### 10/31 どんぐりっこ 音楽会

碧南市立中央幼稚園の年長さん達が「秋」の歌を中心に音楽会を開催してくれました。患者さん達にどんぐりの壁飾りもプレゼントしてくれました。



### 10/28 第1回 いきいき健康講座

「ノロノロしてられない! 冬に流行する病気の豆知識」と題して、当院の感染管理認定看護師生田による冬に流行する病気の予防方法などについての講座を開催しました。



### 11/11 第17回 全国糖尿病週間関連行事

「『糖尿病予備軍増加中』あなたは大丈夫ですか?」と題し、身体測定、体脂肪・血圧測定、血糖事故測定体験などを行いました。



### 11/4~11/5 秋のバラ展

K. I. ローズさんによる秋のバラ展を開催しました。たくさんのバラが飾られ、いい香りが漂いました。



### 11/25 第2回 いきいき健康講座

「床ずれのイロハ」と題し、当院の皮膚・排泄ケア認定看護師清政による、床ずれの予防方法や、正しいベッドでの姿勢と車椅子の座り方などの講座を行いました。



市民病院ホームページ (<http://www.city.hekinan.aichi.jp/HOSPITAL/index.htm>) でも、院内のイベントの報告を随時行っております。是非ごらんください。